

横浜市立桂台中学校

学校だより



令和8年度 NO.4 令和8年7月17日（金）発行



夏休みにやってみよう！

校長 笹原 洋子

今年の6月は久しぶりに梅雨らしい天候が続きました。7月になり、急に気温が上がり、一気に夏本番になったように感じます。そして、明日からは夏休みです。

夏休みには様々な予定を入れていることと思います。部活、旅行、勉強などなど。ぜひ、時間を有効に使って、まとまった時間を取れる時だからこそのことをやってみましょう。私が皆さんにやってほしいと思っていることは、何をやる時でも良いので、『自分以外の人がどのようなことを考えたり、感じたりしているのだろうか？』ということを考えてほしいのです。

例えば、部活動。運動部では2年生が中心となる新チームでの活動が始まっている部が多いと思います。日頃の活動では、ただ、練習をしている時間が多いのではないかと思います。でも、いつも以上に時間をとれる夏休みには、それぞれの人が部活動に対してどのような想いや願いをもっているのかなどを聞いてみてはどうでしょう。人に合わせたり、背伸びをしたりするのではなく、今、思っている正直な気持ちを伝えあって、お互いを理解できると、これからの活動がより充実するのではないかと思います。

例えば、旅行先で。久しぶりに親戚の方などと会うのなら、その方が日ごろどのようなことをやっているのかを聞いてみると面白いと思います。横浜以外の中学校に通っている親戚がいたら、その人の学校のことを聞いてみてはどうでしょう。桂台中とは違うことをやっていることに驚くこともあるかもしれません。もし、桂台中でも取り入れたほうがよさそうなことがあったら、友達や先生に話してみましょう。また、旅行先では日常的にはあまり接しない仕事をされている方に出会うことがあります。それがきっかけとなり、そういう仕事への興味をもつこともあるかもしれません。

また、家族とじっくり話をする時間をもつのも良いでしょう。日頃、仕事などで忙しいご両親や祖父母など、意外と中学生のあなた方が精神的にしっかりしてきていることに気付いてくれないことがありますよ。自分の意思があり、自分なりの考え方が育ってきているところを伝えてみましょう。大人の方と考え方が違うと感じたら、その考えを受け止めつつも「自分はこう考えるよ。」と言えたら、これからもっとあなた達を「一人の大人」として認めてもらえるようになるかもしれません。

これらのことをするときに意識してほしいことは、優劣をつけないことです。違いがあることを認めて、その違いをそのまま受け止めてほしいのです。そのまま受け止めるって意外と難しいことなのですが、ぜひ、やってみてください。そして、自分の考え方の世界を広げられる素敵な夏休みにしてください。

